

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】令和 5 年 7 月 12 日(2023.7.12)

【公開番号】特開 2022-13587(P2022-13587A)

【公開日】令和 4 年 1 月 18 日(2022.1.18)

【年通号数】公開公報(特許)2022-008

【出願番号】特願 2020-206772(P2020-206772)

【国際特許分類】

G 1 6 H 1 0 / 6 5 ( 2 0 1 8 . 0 1 )

10

【 F I 】

G 1 6 H 1 0 / 6 5

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 7 月 4 日(2023.7.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ネットワークを介してユーザが装着する測定装置を含む情報処理システムであって、  
前記測定装置から取得する測定データに対して所定の演算を実行し、生体データを生成する生体データ生成部と、を備え、  
前記測定データは、加速度情報を含み、  
前記生体データは、歩幅情報を含み、  
前記生体データ生成部は、前記加速度情報が示す所定の加速度成分が特定の状態となるタイミングに基づいて前記ユーザの 1 歩の間隔を判別し、前記歩幅情報を生成する、  
ことを特徴とする情報処理システム。

30

【請求項 2】

前記生体データ生成部は、進行方向での前記加速度成分が一番小さくなるタイミングに基づいて前記ユーザの 1 歩の間隔を判別し、前記歩幅情報を生成する、  
ことを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理システム。

【請求項 3】

前記生体データ生成部は、進行方向での前記加速度成分が逆方向に切り替わるタイミングに基づいて前記ユーザの 1 歩の間隔を判別し、前記歩幅情報を生成する、  
ことを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理システム。

【請求項 4】

前記生体データ生成部は、垂直方向での前記加速度成分が一番小さくなるタイミングに基づいて前記ユーザの 1 歩の間隔を判別し、前記歩幅情報を生成する、  
ことを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理システム。

40

【請求項 5】

前記生体データ生成部は、垂直方向での前記加速度成分が逆方向に切り替わるタイミングに基づいて前記ユーザの 1 歩の間隔を判別し、前記歩幅情報を生成する、  
ことを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理システム。

【請求項 6】

前記生体データ生成部は、前記加速度情報が示す所定の加速度成分のうち、前記ユーザが蹴り出した際の加速度成分が発生したタイミングに基づいて前記ユーザの 1 歩の間隔を判別し、前記歩幅情報を生成する、

50

ことを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理システム。

【請求項 7】

ネットワークを介してユーザが装着する測定装置を含む情報処理システムによる情報処理方法であって、

生体データ生成部により、前記測定装置から取得する測定データに対して所定の演算を実行し、生体データを生成するステップを含み、

前記測定データは、加速度情報を含み、

前記生体データは、歩幅情報を含み、

前記生体データを生成するステップは、前記加速度情報が示す所定の加速度成分が特定の状態となるタイミングに基づいて前記ユーザの 1 歩の間隔を判別し、前記歩幅情報を生成する、

10

ことを特徴とする情報処理方法。

【請求項 8】

ネットワークを介してユーザが装着する測定装置を含む情報処理システムにおいて、情報処理方法を実行させるプログラムであって、

前記情報処理方法は、

生体データ生成部により、前記測定装置から取得する測定データに対して所定の演算を実行し、生体データを生成するステップを含み、

前記測定データは、加速度情報を含み、

前記生体データは、歩幅情報を含み、

前記生体データを生成するステップは、前記加速度情報が示す所定の加速度成分が特定の状態となるタイミングに基づいて前記ユーザの 1 歩の間隔を判別し、前記歩幅情報を生成する、

20

ことを特徴とするプログラム。

30

40

50